

函館市の学校教育推進の指針

平成26年度

アプローチ

56号

～より確かな教育のために～

函館市義務教育の基本理念

心豊かに学び 共に未来のふるさとを拓く子どもをはぐくむ

学校教育推進の指針である「アプローチ」は、「函館市義務教育基本計画」の実現を目指し、年度ごとに具体的な取組のための指針を示しているものです。

平成26年度は、基本計画の7年目を迎え、学校が取り組むべき基礎・基本の徹底を目指し、以下の重点を定めました。

平成26年度 学校教育推進の重点

豊かなつながりの中で『確かな学び』を実現する取組の推進

～最後までやり切る指導を目指して～

私たちは、「函館市義務教育基本計画」の実現を目指して、客観的な調査結果や子どもの日常の実態を分析し、自校の課題を明確にするとともに、その課題解決のため、家庭や地域、関係機関などと協働し、積極的な取組に努めています。

基本計画の推進期間が残すところ4年となり、確実にその理念に迫るためには、子どもと直接触れ合う教員の資質や指導力を常に向上させるよう努めるとともに、全ての子どもたちの知・徳・体の調和のとれた育成を目指し、学校が取り組むべき基礎・基本を徹底してやり切ることが必要であると考えました。

こうしたことから、函館市の全ての学校・園が一丸となって、子どものよりよい成長のために、最後までやり切ることを目指して取り組むことができるよう、「豊かなつながりの中で『確かな学び』を実現する取組の推進～最後までやり切る指導を目指して～」を本年度の学校教育推進の重点としました。

函 館 市 教 育 委 員 会

函館市の学校教育の充実に向けて

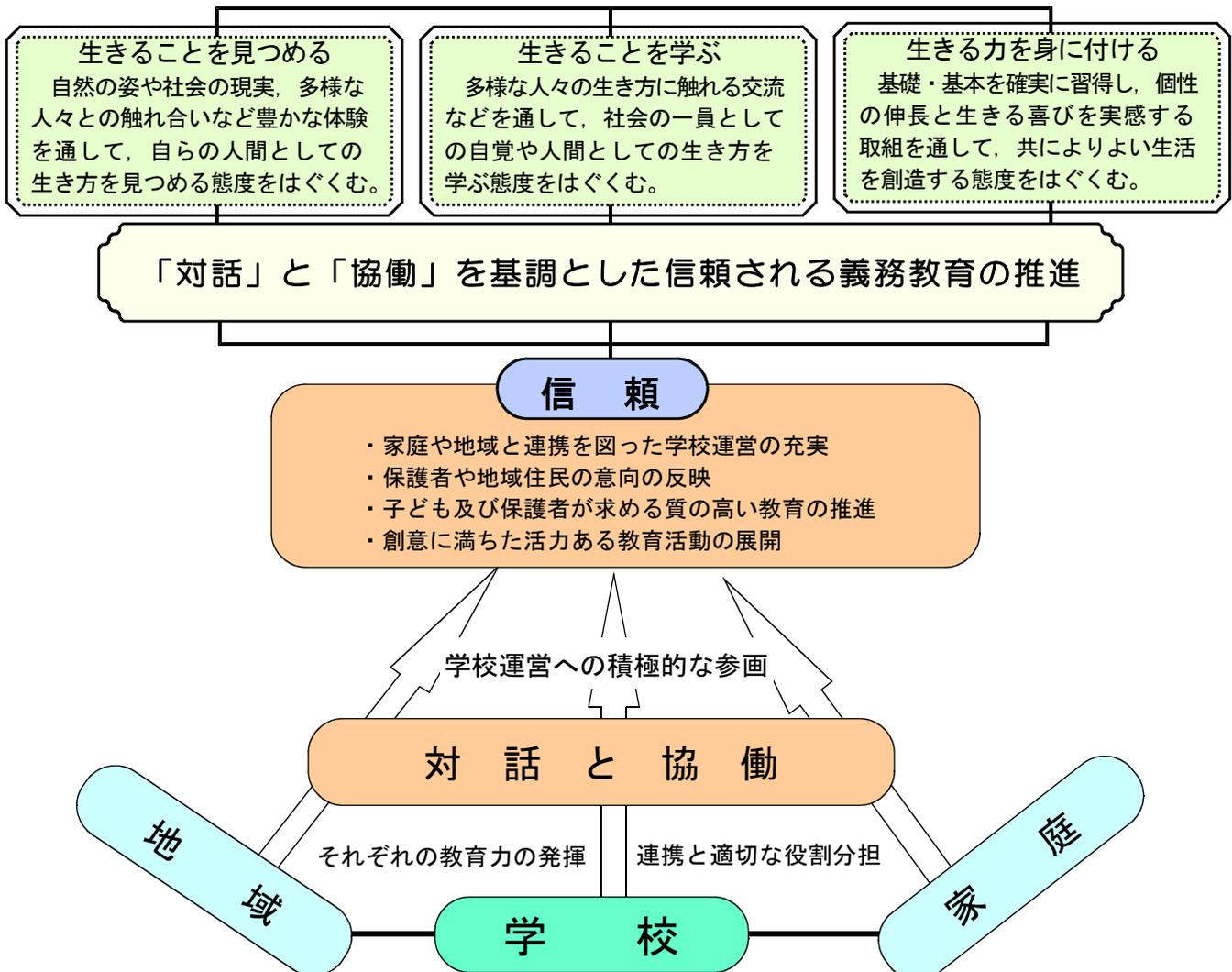
〈函館市義務教育の基本理念〉

心豊かに学び 共に未来のふるさとを拓く子どもをはぐくむ

めざす子ども像

- **個性豊かに生きる子ども**
「確かな学力」を身に付け、個性や創造性を発揮し、自らの生き方を創り出す子どもをはぐくみます。
- **優しさをもって生きる子ども**
責任とモラルを重んじ、他者を思いやり、人間尊重の精神や自他の生命を大切に
する子どもをはぐくみます。
- **たくましく生きる子ども**
健やかな心と体をもち、理想や自己の目標に向かって努力する活気に満ちた
子どもをはぐくみます。
- **函館に生きる子ども**
ふるさとのよさを見付け、誇りをもち、先人の生き方に学び、進取の精神
をもって新たな文化を創造する子どもをはぐくみます。
- **共に未来を生きる子ども**
社会の変化に主体的に対応する力をもち、広い視野に立って社会に貢献する子
どもをはぐくみます。

基本姿勢 生きることを見つめ 生きることを学ぶ学校教育の創造



「義務教育基本計画」後期（平成25年度～29年度）における4つの重点項目について、各学校・園の実態や本市の教育課題を考慮し、学校が取り組むべき基礎・基本を最後までやり切ることを目指し、平成26年度の学校教育推進の重点を設定するとともに、4つの重点指導事項として整理しました。

函館市義務教育基本計画（めざす子ども像）

「義務教育基本計画」後期における4つの重点項目

授業改善

特別支援教育

生徒指導

学校安全

平成26年度 学校教育推進の重点
豊かなつながりの中で『確かな学び』を実現する取組の推進
～最後までやり切る指導を目指して～

平成26年度 重点指導事項

重点指導事項 I

粘り強さを育む
組織的な学習指導の
推進

重点指導事項 II

組織的な支援を
目指した
特別支援教育の推進

重点指導事項 III

支持的風土を築く
学年・学級経営の
推進

重点指導事項 IV

今日的な教育課題
の解決を図る取組
の推進

最後までやり切る指導を目指す！

重点指導事項Ⅰ：粘り強さを育む組織的な学習指導の推進

1 学力向上に向けた授業改善

(1) 学習規律の徹底

- 子どもの発達段階や実態に応じた学校としての学習規律を取り決め、教職員間で共通理解を図り、指導を徹底しましょう。
- 学習規律は、全教室に掲示するなど、子どもが常に意識できるよう工夫するとともに、教職員自らが範を示し、子どもたちに確実に身に付くように指導を徹底しましょう。

(2) 問題解決的な学習の徹底

- 評価規準に基づいた学習の「めあて」を必ず提示し、「めあて」と対応した「まとめ」を行い、学習過程を明確にした指導を徹底しましょう。
- 基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせるとともに、子どもが自ら考えたり、判断したりする学習活動を計画的に行い、思考力・判断力・表現力等の育成を図りましょう。
- 「まとめ」を生かした適用問題に必ず取り組ませ、定着を確かなものにするとともに、特につまずいている部分は、個別指導や繰り返し指導を行うなど、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させましょう。

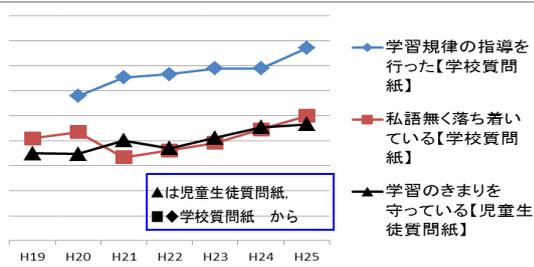
2 主体的な学習習慣の確立

(1) 自ら学ぶ姿勢を身に付ける家庭学習の徹底

- 家庭学習の仕方や内容について指導を徹底し、学習習慣の定着を図るとともに、主体的に取り組む態度を確実に育てましょう。
- 近隣の小・中学校において、学習規律や家庭学習の仕方を交流するなど、子どもに対して一貫性のある指導ができるよう工夫しましょう。

学習規律

本市の現状



「学習規律の指導をした」という学校の子どもは、「学習のきまりを守っている」と回答した割合が高くなる傾向が見られ、先生方も「私語無く落ち着いた」と感じている傾向が見られます。

～全国学力・学習状況調査から～

重点指導事項の概要

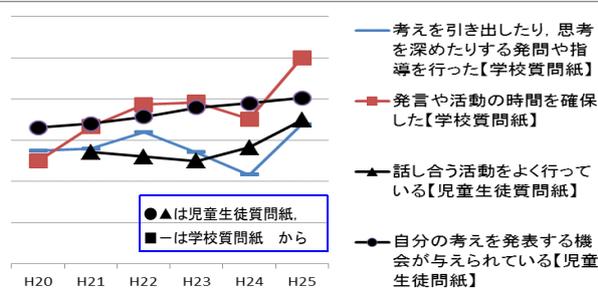
- 自校の学習規律を取り決め、指導を徹底すること

達成目標

- 学習規律の確実な定着

問題解決的な学習

本市の現状



「考えを引き出したし、思考を深めたりする発問や指導を行った」と回答した学校の割合が高くなるにつれて、「話し合う活動や自分の考えを発表する機会が与えられている」と回答した子どもの割合も高くなる傾向が見られます。

～全国学力・学習状況調査から～

重点指導事項の概要

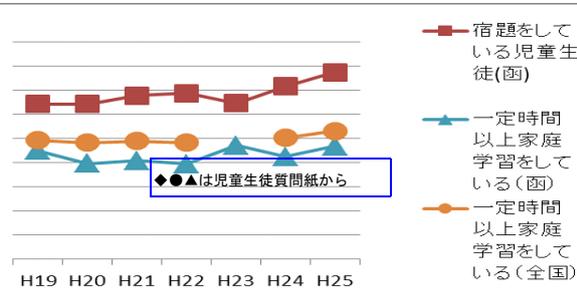
- 学習過程 (めあて→よそう→たしかめ→まとめ) を明確にした指導を徹底すること
- 子どもの思考を大切にした学習活動の充実を図ること

達成目標

- 学習の流れ（問題解決的な学習）の定着
- 思考したり判断したりする学習活動の定着

家庭学習

本市の現状



「宿題をしている」と回答した子どもの割合は高くなっていますが、「一定時間以上（小学校で1時間、中学校で2時間以上）家庭学習に取り組んでいる」と回答した子どもの割合は、依然として全国より低い傾向が見られます。

～全国学力・学習状況調査から～

重点指導事項の概要

- 発達の段階に応じて家庭学習の時間や方法について、指導を徹底すること
- 近隣の小・中学校で学習規律及び家庭学習について連携を図り、指導を徹底すること

達成目標

- 主体的な家庭学習の定着
- 学習習慣の定着に向けた近隣の小・中学校による連携

重点指導事項Ⅱ：組織的な支援を目指した特別支援教育の推進

1 校（園）内支援委員会の充実

- コーディネーターを中心とした校（園）内体制を確立し、適切な支援の在り方や、就学に関することなどを校（園）内支援委員会において計画的に協議するとともに、一人ひとりの状況に柔軟に対応するなど、機動的に取り組みましょう。

2 PDCAサイクルに基づいた指導の充実

【PLAN：計画】

- 特別な教育的配慮が必要な子どもの実態を客観的資料に基づいて把握するとともに、保護者の協力を得て、指導や支援の目標や内容、配慮事項等を示した指導計画を策定しましょう。

※ 函館市は、平成26年度より小・中学生の就学指導にかかわる知能検査を「WISC-Ⅳ」に移行します。

なお、検査にかかわる研修を北海道教育センターで行っております。

【DO：実行】

- 指導計画に基づき、対象となる子どもの障がいの特性や発達の段階、また、学習の理解の程度等に応じて教材を工夫するなど、「分かる喜び」「できた喜び」を実感させましょう。
- 必要に応じて、関係機関と連携を図り、専門的な助言や援助を活用しながら、適切な指導や支援を進めましょう。

【CHECK：評価】

- 可能な限り客観的な資料に基づき、子どものよい点や可能性、進歩の状況、指導や支援の成果や課題を明らかにしましょう。

【ACT：改善】

- 評価によって得られた成果や課題に基づき、指導目標や指導内容の改善を図り、より効果的な指導や支援につなげていきましょう。

3 個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成

- 子どもの社会的自立を目指し、学校におけるより一層適切な支援と一貫性のある指導ができるよう、保護者や関係機関と協力し、「個別の指導計画」と「個別の教育支援計画」の策定に努めましょう。

函館市の実態に応じた特別支援教育の充実に向けて、その在り方の検討を進めております。

校内体制

本市の現状	校（園）内支援委員会は、ほぼ100%の学校で開催されていますが、効果的な運営の在り方等について一層の改善が求められます。 ～平成25年度特別支援教育体制整備状況調査から～
重点指導事項の概要	○ 校内支援委員会を計画的かつ機動的に運営すること
達成目標	□ 学校の実態や子どもの状況に応じた校内支援委員会の効果的な運営

指導の実際

本市の現状	子どもの指導や支援の方策についての協議は、ほぼ100%の学校・園で行われていますが、PDCAサイクルに基づいた一層の充実が求められます。 ～平成25年度特別支援教育体制整備状況調査から～
重点指導事項の概要	○ 特別な教育的配慮が必要な子どもの実態を的確に把握すること ○ 指導や支援の目標、内容の適切な計画・実行・評価・改善を行うこと
達成目標	□ 特別な教育的配慮が必要な子どもの実態に応じた適切な指導や支援

個別の指導計画・個別の教育支援計画

本市の現状	「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」が多くの学校・園で作成されておりますが、内容等の一層の充実が求められます。
重点指導事項の概要	○ 対象となる子どもの「個別の指導計画」を作成・活用するとともに、必要に応じて「個別の教育支援計画」を作成すること
達成目標	□ 対象となる子どもの「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」の作成・活用

重点指導事項Ⅲ：支持的風土を築く学年・学級経営の推進

1 支持的風土の確実な醸成

- 学校教育目標の具現を目指す学級経営案に基づき、学習面・生活面などの指導の重点を踏まえるとともに、日常的に交流するなど、学校ぐるみで学級経営を進めましょう。
- 指導の方針や具体的な指導方法を明らかにするために、「観察」や「調査・検査」、「面接」等により、客観的かつ総合的な子ども理解に努めましょう。
- 教師の働きかけによる「居場所づくり」と、子どもの主体的な取組による「絆づくり」を大切にし、子ども同士が、「認め合い、励まし合い、助け合う」など、共同学習や異学年交流等を通して、支え合う風土や望ましい人間関係を確実に醸成しましょう。

2 「道徳の時間」の確実な実施

- 道徳性を育てるために、道徳教育の要である「道徳の時間」の意義を理解し、具体的な指導方法や指導内容について研修を深めるとともに、「道徳の時間」を確実に実施しましょう。
- 道徳教育推進教師などを中心とした校内体制を確立し、保護者や地域住民に対し積極的に道徳の授業を公開する等、道徳教育への理解と協力を求め、指導の効果を確実に高めましょう。

3 問題行動等への積極的な対応

- 日ごろから初期対応の大切さを教職員間で確認し合い、早期発見・早期対応に努めるとともに、子どもの自発的、自治的な集団活動や体験活動等を生かし、「いじめ」や「不登校」等の未然防止を重視した取組を確実に推進しましょう。
- 校内において「報告・連絡・相談」を確実に言い、指導方針等を決定し、保護者や地域、関係機関と適切に連携するなど、スピード感のある対応を徹底しましょう。

4 積極的な教育相談の実施

- 学校における教育相談の意義を理解し、計画的な教育相談や子どもの状況に応じたチャンス相談等を積極的に進めましょう。
- 教育相談に関する専門的な理論や技術を研修等で深め、教育相談の質を確実に高めましょう。

支持的風土づくり

本市の現状	<p>「人の役に立ちたいと思いますか」という質問に対して、小・中学校ともに全体の約7割の子どもたちが「当てはまる」と答えており、さらなる充実が求められます。</p> <p>～平成25年度全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙より～</p>
重点指導事項の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級経営案に基づき、学校ぐるみで学級経営を進めること ○ 一人ひとりを大切にされた客観的かつ総合的な子ども理解に努めること ○ 教師の働きかけによる「居場所づくり」と、子どもの主体的な取組による「絆づくり」を実践すること
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> よさや可能性を尊重し合う学級の風土づくりの推進 <input type="checkbox"/> 客観的かつ総合的な子ども理解の実施 <input type="checkbox"/> 学級経営の基礎・基本の徹底に関する評価，改善

道徳教育

本市の現状	<p>「学校としての方針を明確にした道徳教育の充実」について「A評価」の学校は、小・中学校ともに全体の約2割であり、さらなる充実が求められます。</p> <p>～平成25年度アプローチ評価より～</p>
重点指導事項の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容項目に応じた「道徳の時間」の充実を図ること ○ 校内体制の確立と、家庭や地域の連携を図った指導を工夫すること
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 道徳の時間の確実な実施 <input type="checkbox"/> 道徳教育推進教師を中心とした組織的な取組の実施

生徒指導

本市の現状	<p>教育委員会に寄せられる多くの相談において、初期対応の遅れや、わずかな連携不足など、「関わり不足」のために、あと1歩のところで早期解決のチャンスを逃してしまったケースが少なくありません。</p> <p>～教育指導課および南北海道教育センター教育相談より～</p>
重点指導事項の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題行動等にスピード感をもって組織的に対応をすること ○ 確かな理論に基づく教育相談を実施すること
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 問題行動等に関する指導内容の評価，改善 <input type="checkbox"/> 積極的な教育相談の実施

重点指導事項Ⅳ：今日的な教育課題の解決を図る取組の推進

1 防災教育の充実

- 子どもの防災対応能力を高めるため、教育活動全体で体系的な指導が進められるよう、指導計画や防災マニュアルを整備しましょう。
- 災害の発生メカニズムのほか、生命及び環境の安全を守る防災についての基礎的・基本的な事項を理解させるとともに、日常から災害時を想定した環境整備や放送等の指示を静かに聞くなどの習慣を身に付けさせましょう。

2 体力向上に関する取組の徹底

- 子どもの実態を踏まえ、学校の方針や重点を明確化するとともに、子どもが日常的に運動に取り組むことができるよう、具体的な計画を立案・工夫し、家庭・地域と一丸となって体力の向上を図りましょう。
- 進んでスポーツに親しもうとする意欲を高めるため、楽しさを実感できる体育の授業の充実や体育的行事との関連を工夫し、運動の日常化に向けた取組を充実させましょう。

3 食に関する指導の充実

- 望ましい食習慣の形成や食に関する正しい知識、実践力を身に付けさせるため、食に関する指導の全体計画や具体的な指導計画を整備しましょう。
- 栄養教諭の専門性や外部人材の特性を生かし、担任教諭と連携するなど、校内の指導体制を整備し、より効果的な指導を進めましょう。
- 「早寝・早起き・朝ご飯」等の基本的な生活習慣の定着を図るため、家庭・地域、関係機関等と連携した指導を徹底しましょう。

4 ICTの活用

- 子どもたちに必要な情報活用能力を育むため、教職員のICT活用指導力を高め、授業等における日常的・効果的なICT機器の活用を推進しましょう。
- 情報モラルを確実に身に付けさせるため、発達の段階を考慮するとともに、具体的な指導計画を踏まえ、家庭・地域・関係機関との連携を図りましょう。

防 災 教 育

本市の現状	様々な災害発生時を想定し、地域の町内会や関係機関等と連携した防災訓練等に積極的に参加している学校が増えてきています。
重点指導事項の概要	○ 指導計画や防災マニュアルを整備すること ○ 災害に関する基礎的・基本的な知識や災害時の対応の仕方を身に付けること
達成目標	<input type="checkbox"/> 防災教育の指導計画や防災マニュアルの整備 <input type="checkbox"/> 自ら命を守り抜く態度を育む指導の徹底

体 力 向 上

本市の現状	毎日運動を行う子どもの割合が、小学校では全国平均とほぼ同じであり、中学校では全国平均を下回っています。 ～全国体力・運動能力、運動習慣等調査から～
重点指導事項の概要	○ 子どもの実態把握に基づいた体力向上に関する学校の方針や重点を明確にすること ○ 進んで運動に取り組むことができる体育授業の充実や運動の日常化を意識した体育的行事等の工夫を行うこと
達成目標	<input type="checkbox"/> 体力向上を目指した体育の授業や体育的行事等の改善 <input type="checkbox"/> 体育科の指導方法や年間指導計画等の工夫

食に関する指導

本市の現状	朝食を毎日食べている子どもの割合は、年々増えてきていますが、日常的に朝食を摂らずに登校する子どもも少なくありません。 ～全国学力・学習状況調査から～
重点指導事項の概要	○ 食に関する指導の全体計画や年間指導計画を改善すること ○ 校内での指導体制を工夫すること ○ 朝食の重要性を含めた食に関する指導の充実を図ること
達成目標	<input type="checkbox"/> 食に関する指導の全体計画・年間指導計画の策定 <input type="checkbox"/> 栄養教諭等と連携した食に関する授業の実施 <input type="checkbox"/> 朝食の喫食率の向上を目指す家庭との連携の実施

I C T の 活 用

本市の現状	校務用PCを活用した教職員間の日常的な情報共有や実物投影機を活用した授業実践等、ICTを効果的に活用している学校が増えています。一方、個々の教職員間にはICT活用指導力に個人差が見られます。
重点指導事項の概要	○ 教職員のICT活用指導力の向上を図ること ○ 発達の段階に応じた情報モラルの指導の実施や改善を図ること ○ 情報モラルの育成にかかわり家庭との連携を積極的に図ること
達成目標	<input type="checkbox"/> 「教育の情報化」にかかわる研修の実施 <input type="checkbox"/> 情報モラルに関する計画的な指導の実施 <input type="checkbox"/> 子どもや保護者への情報モラルの啓発

重点指導事項目標指標 ～100%を目指しましょう～

重点指導事項	年度末評価
<p>重点指導事項Ⅰ：粘り強さを育む組織的な学習指導の推進</p> <p>《学習規律》 <input type="checkbox"/> 学習規律の確実な定着</p> <p>《問題解決的な学習》 <input type="checkbox"/> 学習の流れ（問題解決的な学習）の定着 <input type="checkbox"/> 思考したり判断したりする学習活動の定着</p> <p>《家庭学習》 <input type="checkbox"/> 主体的な家庭学習の定着 <input type="checkbox"/> 学習習慣の定着に向けた近隣の小・中学校による連携</p>	<p>A B C D</p> <p>A B C D</p> <p>A B C D</p> <p>A B C D</p>
<p>重点指導事項Ⅱ：組織的な支援を目指した特別支援教育の推進</p> <p>《校内体制》 <input type="checkbox"/> 学校の実態や子どもの状況に応じた校内支援委員会の効果的な運営</p> <p>《指導の実際》 <input type="checkbox"/> 特別な教育的配慮が必要な子どもの実態に応じた適切な指導や支援</p> <p>《個別の指導計画・個別の支援計画》 <input type="checkbox"/> 対象となる子どもの「個別の指導計画」や「個別の教育支援計画」の作成・活用</p>	<p>A B C D</p> <p>A B C D</p> <p>A B C D</p>
<p>重点指導事項Ⅲ：支持的風土を築く学年・学級経営の推進</p> <p>《支持的風土づくり》 <input type="checkbox"/> よさや可能性を尊重し合う学級の風土づくりの推進 <input type="checkbox"/> 客観的かつ総合的な子ども理解の実施 <input type="checkbox"/> 学級経営の基礎・基本の徹底に関する評価，改善</p> <p>《道德教育》 <input type="checkbox"/> 道德の時間の確実な実施 <input type="checkbox"/> 道德教育推進教師を中心とした組織的な取組の実施</p> <p>《生徒指導》 <input type="checkbox"/> 問題行動等に関する指導内容の評価，改善 <input type="checkbox"/> 積極的な教育相談の実施</p>	<p>A B C D</p>
<p>重点指導事項Ⅳ：今日的な教育課題の解決を図る取組の推進</p> <p>《防災教育》 <input type="checkbox"/> 防災教育の指導計画や防災マニュアルの整備 <input type="checkbox"/> 自ら命を守り抜く態度を育む指導の徹底</p> <p>《体力向上》 <input type="checkbox"/> 体力向上を目指した体育の授業や体育的行事等の改善 <input type="checkbox"/> 体育科の指導方法や年間指導計画等の工夫</p> <p>《食に関する指導》 <input type="checkbox"/> 食に関する指導の全体計画・年間指導計画の策定 <input type="checkbox"/> 栄養教諭等と連携した食に関する授業の実施 <input type="checkbox"/> 朝食の喫食率の向上を目指す家庭との連携の実施</p> <p>《ICTの活用》 <input type="checkbox"/> 「教育の情報化」にかかわる研修の実施 <input type="checkbox"/> 情報モラルに関する計画的な指導の実施 <input type="checkbox"/> 子どもや保護者への情報モラルの啓発</p>	<p>A B C D</p>